

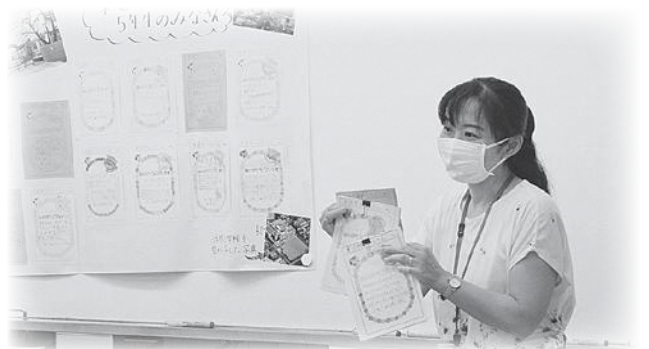
9/2 浮間小学校から東通小学校へ紹介DVDが届きました！ ～東通村と都市部との交流事業～

このたび、東京都北区浮間小学校の5年生が作成した浮間小学校を紹介するDVDの放映と、児童が書いたお手紙の紹介が行われました。今年度で18年目を迎えた都市部との交流事業はコロナ禍において新たな視点で発展！オンラインでのリモート交流やライブ通信でさらなる絆を深めることができました。

DVDを見た児童は、「電車が走ってる」「駅がある」「山がない」「田畑がない」「浮間へ行ってみたい！」などたくさんの感想を発表していました。また、浮間小学校からのお手紙では、「結馬ちゃん(寒立馬)のべこもち美味しかった！」「浮間のことをもっと知ってほしい」「早くコロナが収まって東通村へ行きたい！」などのお手紙に東通小学校5年生は感動していました。



浮間小学校からのDVDを鑑賞する様子



浮間小5年生からのお手紙紹介

9/7 コロナに対応した新イベント検討会 若者ら参加 「東通村のイベント等における今後の在り方についての意見交換会」を開催

東通村では、例年8月に「ひがしどおり来さいフェスタ」を開催しています。本フェスタは、東通村の魅力があふれる村内最大級のイベントです。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い2年連続の中止が決定し、村民の皆さんが楽しめる催しがほとんど無い状況です。

こうした事態を踏まえ東通村では、イベント開催における感染症対策ガイドラインを作成し、安心してイベントに参加できる独自の基準を策定するとともに、コロナ禍で変化した新しい生活様式を見据えたイベントの見直しを図りました。

今回のワークショップは、コロナ禍に対応した新たなイベントを検討するという趣旨で、村民や村内企業・団体の若手20名が参加し、“村民体育祭の復活”、“能舞と流行歌のコラボ音楽フェス”、“村特産品のヒラメ釣り大会”等、新たな発想が生まれました。

畑中稔朗村長は、「今後も定期的にワークショップを開催し、村在住の学生や村内企業・団体の方がさらに参画することを期待しています。ワークショップでの意見、新イベントの提案の一部は、試験的に今秋に開催を目指します」と意欲を示しました。今後、本ワークショップは、定期的に開催する予定です。

